

東京
ケイ
02

赤坂の商店街をテケテケ歩く ピカピカの昭和三輪。

東京ド真ん中の高級繁華街である赤坂界隈で見かけるレトロでちっちゃいクルマ、その正体は珈琲屋さんのミゼットだ。小回りの利くボディで決して広くはない商店街ロードをスイスイ走る姿は、近くに勤めるビジネスマンや近隣住民にもすっかりおなじみ。こだわりの珈琲焙煎店で活躍する1960年型のミゼットに会いに行ってきた。

Photograph Motosuke Fuji Text Yasuhiro Tsuchida
Special Thanks / 注文焙煎 豆虎 ☎03-6435-5353
www.mametora.jp/



赤坂 田町通り
赤坂見附駅からほど近い位置にあるミゼットのあるお店「豆虎」。近辺は都内でも有数の高級繁華街で著名レストランなども多数。高級住宅地としても知られ大使館も多く外国人の往来も頻繁。そんなエリアに愛されるコーヒー豆を販売するのが「豆虎」だ。

珈琲豆店のアイドルであり スタッフでもある三輪ミゼット

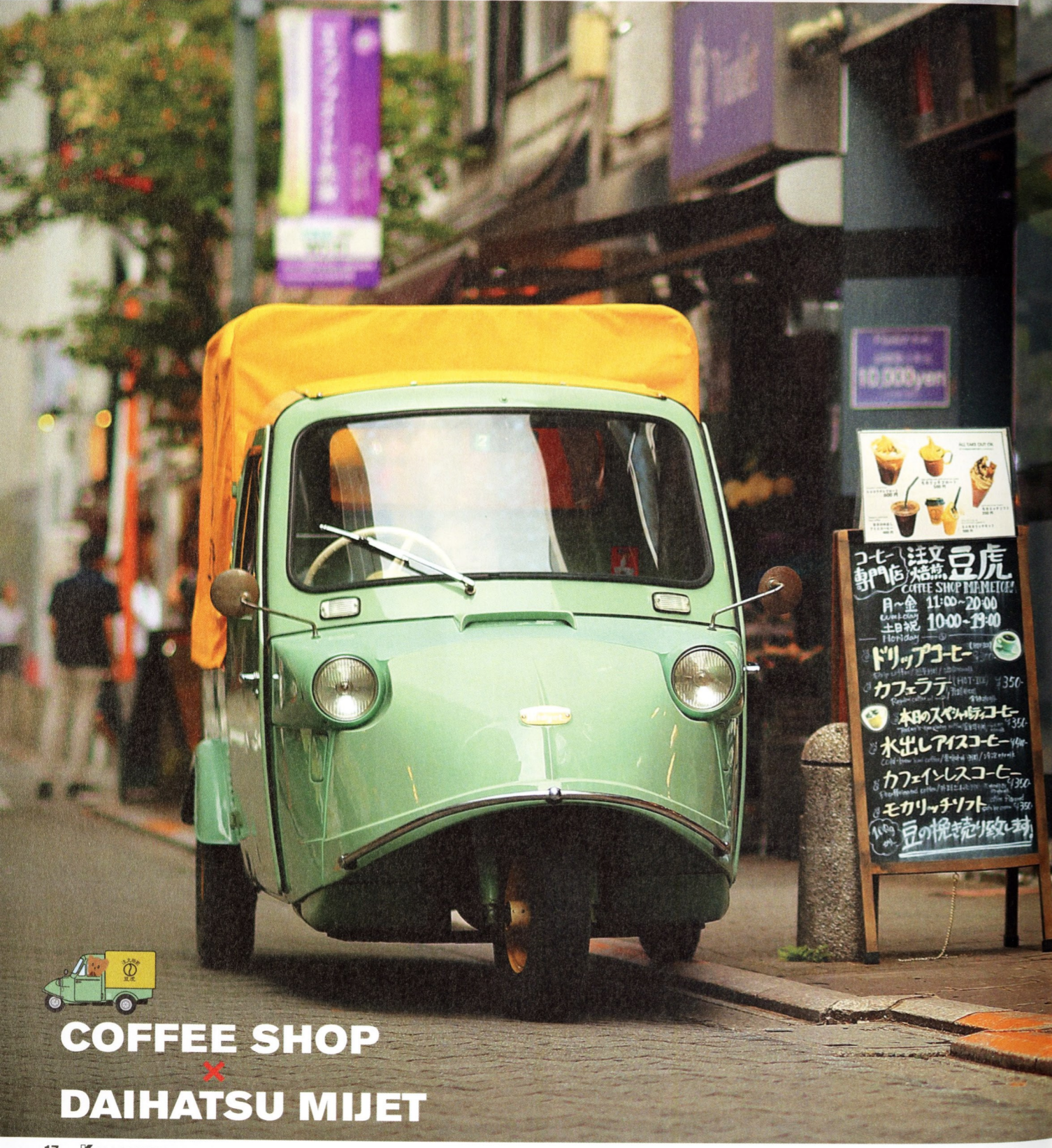
近くにはテレビ局やホテル、オフィスビルも建ち並ぶ赤坂の商店街に突然現れるノスタルジー空間。それが注文焙煎を行う珈琲専門店「豆虎」だ。木の温もりや手作り感覚を大切にされた店舗デザインは社長である穴吹サンが、駄菓子屋の感覚を取り入れるためにこだわった店舗スタイルでもある。そして、そんなお店の前には「看板クルマ」であるミゼットMP4が置かれている。

「30年以上前、私が学生だった頃に街中で見かけた氷屋さんのミゼットが衝撃的だったんです。そのスタイルがかわいくて、自分が店を作ったら置くと決めてたんです」。

そんなミゼットは、倉庫からの豆の運搬や近所への珈琲デリバリーなど、現役バリバリの働きを見せる。ただのマスクットではなく、お店の一員としての戦力なのだ。

この地域は、功成り名を遂げたいわゆる勝ち組の人々が住むエリア。高度成長期を経験してきた世代にとってはミゼットは懐かしい存在。店頭や街中で見かけると、笑顔になってくれる、写真を撮ったり話しかけられることもあり、大モテの存在だとか。赤坂という地域にこの店が愛され溶け込んでいる存在もミゼットのおかげでもあるという。

「東京の街中にゆったりした空気を流してくれるミゼット。小回りも利くし東京の街に合うんですよ」。



COFFEE SHOP
×
DAIHATSU MIJET

